

中国海域の航行警報及び航路情報 (No.33)

1. East China Sea、Pinghu 油田及びガス田、海底パイプライン付近の地質調査

HHH(2015) No.226

MSA China 2015 年 5 月 18 日

I. 作業期間：2015 年 5 月 19 日～2015 年 7 月 15 日間の日中

II. 作業区域：East China Sea、以下の地点を結んだ海底ケーブル両側 800m の海域。

A: 30°50'29"N / 121°51'18"E;

B: 30°40'00"N / 121°55'49"E;

C: 30°33'07"N / 121°58'42"E.

III. 作業内容：作業船“Su Hai Yan 5”及び“Su Hai Yan 6”は、作業海域の北から南へ、各々5～6ノットの速度で航行し調査を行う。

IV. 注意事項：

1. 作業船は、規則に従って、信号を掲揚する。
2. 作業船は、見張りを強化し、VHF13 チャンネルを聴取している。
3. 作業船は、当該海域を管轄する Yangshan VTS 及びパトロールボートの指示に従う。
4. 付近を航行する船舶は作業船より 200m 以上離れ、低速で航行すること。
5. 作業は、風力 7 以上、ないし視界が 1,000m 以下になった場合、中止される。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/3f675d50-57bd-49cb-9672-4e6806c4b394>

2. 作業船“Hai Yang Shi You 719”による Qiongdongnan 内湾、Yanan 南方水域 (No.3 ゾーン) の地震の三次元データ採取プロジェクト

QHH(2015) No.11

MSA China 2015 年 5 月 6 日

I. 作業期間：2015 年 5 月 5 日～2015 年 8 月 30 日

II. 作業区域：Sanya 海域の南方、以下の 5 地点を結んだ海域。

A: 17°46'N / 109°01'E;

B: 17°46'N / 109°37'E;

C: 17°24'N / 109°37'E;

D: 17°18'N / 109°20'E;

E: 17°26'N / 109°01'E.

III. 作業船：“Hai Yang Shi You 719”

IV. 作業内容：

作業船は 6,000m のケーブル 6 本を曳航し、時計回りで連続してデータの収集を行う。

V. 注意事項：

1. 作業船は、昼間、“球形 - ひし形 - 球形”の形象物を、夜間は“紅色 - 白色 - 紅色”の灯火を掲揚し、曳航している各ケーブルの最後尾にはレーダー反射機能を内蔵したオレンジ/黄色のブイが接続されている。(夜間は白色の灯火が 2 秒間隔で点滅する)
2. 作業船の警護、エスコートのために“Yue Yang Xi Yu 31501”、“Yue Yang Xi Yu 32368”、“Yue Chao Yang Yu 12196”及び“Qiong Dan Zhou 15021”の 4 隻が現場海域周囲を航行している。
3. 作業船は VHF16 チャンネルを聴取している。付近を航行する船舶は安全対策として、見張りとは連絡体制の強化を図り、作業船の後方 6,000m 内ないしケーブルの中間海域の航行は回避する。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/706dd16b-b234-4dff-a328-975799c471d8>

3. Tianjin 港、Dagang 港域の第 7 仮設錨泊地 (7# Temporary Anchorage of Dagang Harbor Area of Tianjin Harbor) 使用に際しての注意勧告

JHS(2015) HZ No.4

MSA China 2015 年 5 月 15 日

Oikou の 18-1 油田(WHP 1 プラットフォーム 38°39'29.8"N / 117°57'37.7"E)と陸上側接続ポイント (38°57'24"N / 117°42'31"E) 間の石油・ガスパイプラインは現在も使用中である。

パイプラインの両側 600m 内での投錨ないし把駐作業は禁止する。Tianjin 港 Dagang 港域、第 7 仮設錨泊地の南西角部 (D1: 38°41'44.0"N / 117°56'00.0"E) は上記のパイプラインに近接している。

航行船舶はパイプラインから 600m 以上、離れて航行するとともに、当該錨地を利用する際は、可能な限り距離をおいて使用のこと。

Tianjin 港、Dagang 港域の第 7 仮設錨泊地に関する詳細な情報は航行警報、JHS(2015)HZ No.2 (中国海域の航行警報及び航路情報 30 参照)

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/1945cb31-2476-4d69-8444-3f0272ee9dad>

4. 2,000TEU 以上を積載するコンテナ船が狭視界下、Shanghai Yangshan 港の入出港に際してのテスト実施について

HHH(2015) No.228

MSA China 2015 年 5 月 19 日

Shanghai Yangshan 港の利用船舶の増大と船舶のスケジュール確保、ターミナルの有効利用へ向けて、2,000TEU 以上の積載能力のあるコンテナ船が狭視界下、Shanghai Yangshan 港の入出港に際して 2015 年 5 月 20 日より航行に関するテストを実施する。詳細は下記のとおり。

I. 視界が 200~500m の状況下では、2,000TEU 以上を積載するコンテナ船が Shanghai Yangshan 港を出入港する場合、以下の条件を満たしていること。

1. 船長の許可を得る
2. パイロットの指示に従う
3. 500m 以上の視界レベルを得るために、安全航海をサポートする計器を駆使すること。

II. 視界が 200~500m の状況下では、2,000TEU 以上を積載するコンテナ船の航行や接岸を支援する船舶についても、上記 I. の条件 3 を満たしていること。

III. 視界が 200~500m の状況下では、航行速度は 10 ノットを超えないこと。また他船を追い抜く行為は禁止。パイロットの乗下船は No.1 pilotage operation area の中心付近で行うこと。Yangshan 港における主航路内は指定方向に航行すること。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/92502437-bf99-4726-8e86-0b8c4b8e6662>

免責事項

以上の航行警報は MSA China または MSA 地方局の公式ウェブサイトに掲載された情報の一部となります。これらの情報や英訳の真実性について Sloma は責任を負いません。以上の航行警報に従った結果損害が発生しても、Sloma は責任を負いません。

Junmao Jiang

Sloma & Co.

2015 年 5 月 22 日